

## 2023\_1013「路面電車の後ろを走る（動画）」日々の理科 3354号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

東京の路面電車（都電）は、かつて主要な道路に、文字通り「網の目」のように走っていました。私の勤務しているお茶の水女子大学前の「春日通り」にも「大塚駅前～錦糸町駅前系統」の都電が走っていて、現在もその名残で同じ経路の「都バス 02 系統」が走っています。しかし、自家用車時代の到来と地下鉄の発達、都電車輛と自動車の大事故の発生など、さまざまな原因が重なって、1 系統を残して都電は全滅してしまいました。

その最後の 1 系統が「都電荒川線」です。早稲田を起点に、雑司ヶ谷・大塚駅前・王子駅前・熊野前・三ノ輪橋を結んでいて、現在も相当数の乗客を運び続けています。都電のほとんどは路面電車（併用軌道）でしたが、荒川線が生き残ったのは、路線の大部分が「専用軌道」だったからです。実際に起点から終点まで乗ってみると、路面電車っぽくないなとわかります。しかし現在でも一カ所だけ路面電車らしい地点があります。それが飛鳥山公園～王子駅前の区間です。

滝野川方面から来た都電車輛は、飛鳥山公園の交差点で路面に出てきて「併用軌道」を走ります。この区間は、東京で自動車が路面電車の線路上を走れる唯一の区間です。「軌道上自動車走行可能」という、東京では珍しい道路標識も設置されています。路面電車用の黄色の矢印信号と、自動車用の緑の矢印信号のタイミングがよいと、都電車輛のすぐ後ろを走ることもできます。先日、ちょうどそういう機会がありました。東京のドライバーは路面電車に慣れていません。都電に追突したら大事故になって新聞に載ってしまうので、ぶつからないようにゆっくりとついて行きました。なかなか面白かったです！

(2023 年 10 月中旬／北区飛鳥山公園)

